

大成ロテックらを コスモス新規認定

建災防

建設業労働災害防止協会（銭高一善会長）は28日、大成ロテックと塚本工務店（群馬県藤岡市、塚本定夫社長）に「COHSMS（コスモス、建設業労働安全衛生マネジメントシステム）認定証」を新たに交付した。塚本工務店は



左から西田社長、田中専務理事、塚本社長

群馬県に本社がある建設会社で初めて認定を受けた。

同日、建災防本部で開いた交付式では、田中正晴専務理事が大成ロテックの西田義則社長と塚本工務店の塚本社長に認定証を手渡した。

交付式後、西田社長は「3カ年計画の柱にも安全の取り組みを位置付けている。認定を契機に一層、組織的に安全対策に取り組んでいきたい」と決意を新たに示した。

塚本社長は「社員には人命に代わるものはないと言っている。労働災害の撲滅に向けて取り組みをさらに強化していきたい」と力を込めた。

建災防は2019年1月13日付で中部土木（名古屋市、難波陽一社長）を更新認定している。28日現在で認定を取得している建設事業場などは123件（103社）、適用事業場数は264となっている。